

登山シーズン真っ盛り 鳥海山トレッキング

7月27日、スポーツ推進委員主管の鳥海山トレッキングが開催され市内外から20人が参加しました。連日の猛暑の中でも比較的涼しく、6合目の賽の河原には雪渓が多く残り肌寒く感じるほどでした。分岐から長坂コースに向かいニッコウキスゲの群落に迎えられながら無事、目的地の7合目御浜に到着。達成感を感じながら昼食を食べる姿が見られました。



▲常に先頭をキープしていた元気な山ボーイたち

100歳長寿おめでとございます 長寿祝状・祝金贈呈式

7月26日、阿部義夫さん（平沢・大正8年生まれ）が100歳の誕生日を迎えられました。本田副市長から祝状と祝金が贈呈され、多くの施設入所者とスタッフから祝福されると「ありがとう。感謝しました。」と答えてくれました。たくさんの家族にも囲まれ、とても幸せそうな阿部さんでした。これからも末永くお元気でお過ごしください。



▲100歳の節目に家族も駆けつけお祝いました

己の限界にチャレンジする鉄人たち 第32回秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会

7月21日、秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会が行われ、30度を超える厳しい暑さの中、228人のトライアスリートが約1,000人のボランティアがお迎えしました。今回、東京パラリンピックを目指す横手市出身の高橋勇一さん（2004年アテネパラリンピックマラソン金メダル）も出場し、50代の年代別では見事トップでゴールしました。



▲ガイド(前)とともに象潟を駆け抜ける高橋さん(後)

公民連携とは「稼ぐこと」 令和元年度にかほ市・由利本荘市議会議員交流会

7月17日、エクセルキクスイでにかほ市・由利本荘市議員交流会が行われ、株式会社オガール代表取締役・岡崎正信氏が、「公民連携事業のつくりかた」と題し講話しました。岡崎氏は、岩手県紫波町オガールの成功事例を通じて、小規模財政で大きな公共サービスを可能とする公民連携の仕組みとそれにもなう稼ぐことの必然性を熱く話されました。



▲日本建築学会賞を始め、さまざまな賞を受賞している岡崎氏（写真・右上）

みんなの願い天まで届け 第40回金浦小学校浜っ子七夕

7月27日、金浦小学校で浜っ子七夕が行われました。この行事は昭和55年に金浦小学校と大竹小学校が統合してから続くもので、今年で40回目となりました。子ども会ごとに大きな七夕飾りを作り地域ぐるみで夏休みを楽しむ恒例イベント、この日は台風が近づくフェーン現象の酷暑にもかかわらず、親子で夏休みを楽しむ様子が見られました。



▲校舎前に並ぶ地域ごとの七夕飾り

南極の不思議を学ぶ にかほ市民教養講座

7月27日、エニワンでにかほ市民教養講座が開催され、南極地域観測隊長を務めた渡邊興亜氏（国立極地研究所名誉教授）の講演と、冒険家・阿部雅龍氏がビデオ出演しました。講演では、南極点までの地理や気象、探検の歴史などを解説。満員の会場で、参加者は南極の不思議や特異性について知見を広げ、白瀬蘆の偉業をあらためて学びました。



▲南極大陸について解説する渡邊先生

あなたの街の相談パートナー 人権擁護委員委嘱状交付式

7月23日、秋田地方務局本荘支局で人権擁護委員の委嘱式が行われ、本市から3人が法務大臣より委嘱を受けました。任期は令和元年7月1日から令和4年6月30日までの3年間。法務局等において、いじめ・差別などの人権に関する相談に応じ、問題解決のお手伝いや、小・中学校等で思いやりの大切さなどを伝える人権教室を実施していきます。



▲左から、池田史郎さん、阿部寛子さん、齋藤由美子さん

優勝目指して“いきいき”と 第14回いきいき健康まつり in にかほ

7月22日、象潟体育館でにかほ市老人クラブ連合会主催の第14回いきいき健康まつり in にかほが開催されました。市内老人クラブから273人が参加し、5つに色分けされたチーム対抗戦。輪投げ、ボール送り、スプーンレースの3種目で熱戦を繰り広げる選手、そして周りから熱い声援を送る観客など、とても“いきいき”とした姿が見られました。



▲スピードよりも正確性が大事！ボール送り。